

## カラオケサークル 国和の会 歌碑巡り

前回までは会員だけで歌碑の前で合唱を楽しんだが、今回はガイドと共に巡った。

吉屋チルーが8歳で那覇の遊郭に身売りされた時の歌「♪恨む比謝橋や〜♪」の三線の音に先輩方が涙して歌っていた。

「♪歌と三線の昔始まりや〜♪」で歌われる赤犬子は中国より五穀をもたらしたという。恩納ナビーは「♪恩納松下に禁止の碑の立ちゆす〜♪」

(禁止のお札があっても男女の恋までは禁止すまい)と歌ったという。二見情話の歌は沖縄戦当時二見の収容所に居た照喜

名氏が故郷に帰る時、二見の人々の心清らかさや景色の美しさに、別れ辛さと平和の願いをこめて作ったといわれる。浜千鳥の碑「♪

旅や浜宿り〜草の葉と枕ねと〜♪」を三線が奏でると全員が合唱し群舞した。今回は歌碑の内容やその社会的背景も学ぶ事ができた有意義な研修だった。



## 字国場婦人部 創設50周年 迎える

昭和43年10月、真和志農協より国場支部長の故金城光栄氏に婦人部結成の要請があり、字国場婦人部が農協婦人部としての役割を担うことになりました。「心ひとつにし

て国場の未来のため、住みよい村づくり」を目指して諸行事に協力しつつ今日に至っております。婦人部としての50年の活動に誇りを持っております。これ

からも自治会ははじめ地域活動などに協力して参りますので宜しくお願い致します。(B支部長 嘉数シゲ子)

創設50周年、誠におめでとうございます。

## 【祝】カジマヤー(九十七歳)のお祝い

字国場では今年、嘉数静子さん(松尾)がカジマヤーを迎えた。自治会では、長男・真治さんと共に施設を訪れ、祝福の言葉と共にご祝儀を贈呈し、更なるご健勝を願った。



## 10月17日(火) 各組織の顔合わせ会・意見交換会 開催

自治会運営の活性化および各組織の意思疎通をはかる目的で執行部など各組織の「顔合わせ会」と「意見交換会」を開催し、50名余が参加した。前半の顔合わせ会では各組織の自己紹介がなされ、自治会運営に関わる各組織の役割が確認された。また前班長、前風紀取締役により活動報告が行われた。そして今後開催されるJA運動会、新年会、生年祝賀会などへの協力依頼や慰霊之塔建設工事の進



捗状況等も報告された。後半の意見交換会では活発に意見が述べられ質疑応答も行われた。意見交換会や意見書の内容については謙虚に

受け止め、十分に精査して自治会運営に生かして行きたい。ご参加いただいた各組織の皆さま、ありがとうございました。

## 10月18日(水) 国場の伝統文化、芸能などの紹介

仲井真小学校より地域総合学習の一環として国場地域の文化、芸能などについて講話の依頼があり、伝統芸能保存会相談役の城間秀雄さんが講話を行った。琉球国(王府)時代の国場地域の農業(米作り)について紹介し、DVDを鑑賞しながら「うずんびーら」の由来を解説した。廃藩置県後はサトウキビ作りが盛んになった事や製糖工場が7カ所あり国場川を利用して砂糖を運んだ事、戦後は国場川で水泳や魚釣りをして遊んだ事など話題は尽きなかった。また土帝君や三月あしびなどの年間行事の現状について説明した。

特に戦後の野菜作りやユイマールの心、真和志の成り立ちなど小学3年生ながら興味津々に聞き入っている姿に

感動した。講話を担当していただいた城間秀雄さん、ありがとうございました。

